

年 組 名前：

【 記事を先生や家族に
読んでもらうか、
自分で読んだ後に、
答えてください 】

問1

みなみ し ゆたかしょうがっこう
南アルプス市の豊小で、
「切りクラブ」の活動が始まりました。
クラブは、だれが指導していますか。

かい
会

問2

きりこ どうぐ つか
切りでは、どのような道具を使って、
模様を彫りますか。

問3

きり こせいさく はじ ねんめ ふるかわ むずか たの はな
切り制作を始めて3年目の古川さんは、なにが難しく、なにが楽しいと話していますか。

むずか
難しいこと：.....

たの
楽しいこと：.....



QRコード
から動画を
見られます

「沢登切り保存会」
から切子の指導を
受ける児童＝南ア
ルプス・豊小



南アルプス市沢登地区の住民
でつくる「沢登切り保存会」(名
取守会長 が指導する「切りク
ラブ」の活動が、南アルプス・
豊小で始まった。
切りは同地区に360年以上
伝わる伝統工芸で、切りクラブ
には4～6年生17人が所属。同
校は3年生の3学期に切り体験
の授業を開くほか、クラブでは、



「切りクラブ」制作開始

南ア・豊小 沢登地区住民が指導

毎年10月の「沢登六角堂切り祭
典」への出品作を制作している。
初回の6月12日は、キャラク
ターなどが描かれたオリジナル
デザインの絵に和紙を重ね、「つ
きのみ」と呼ばれる刃物で麻の
葉や六角模様を彫っていた。
名取守会長は「上から真つす刃
を下ろして」などコツを伝え
た。クラブ長で6年の古川晴翔
さんは切り制作を始めて3年
目。「失敗がでず難しいが、
こつこつ続けるのは楽しい。地
域の伝統として頑張って完成さ
せたい」と話した。
保存会による切りクラブの指
導は9月まで計3回開く。
〈戸松優〉

(2026 年 7 月 7 日付 山梨日日新聞 20 面)